

# 6月27日(土)今年もアサザ保全活動に参加しました。

滋賀県東近江市にある栗見出在家第1樋門付近の堤脚水路や接続する農業用水路には、環境省準絶滅危惧種であるアサザの他に外来種で繁殖力の旺盛なオオフサモ等の水草が多く繁茂します。農業用水路等は内水排除操作時に内陸側の水を確実に排出する必要があるため、地元自治会では毎年水草の除去を行い併せてアサザ保全活動を行っています。水資源機構からは6名が参加しました。作業は胴長靴姿で水路に入りアサザを残しながら他の水草を根元から除去します。今年は地元自治会が事前に水路清掃していただいたおかげで除去する水草の量が例年と比べて多くなく、曇天であったこともあり、体力への負担が比較的少ない中での作業となりました。作業後は公民館前で地元の方からお茶をいただき喉の渇きを潤しました。



作業説明の様子

## 【アサザ】環境レッドリスト準絶滅危惧(NT)

湖沼や池に生育する。近年、水辺の護岸工事等に伴い、各地で個体群が消滅、縮小している。6月から8月にかけて黄色の花を咲かせる。五枚ある花弁の周辺には細かい裂け目が多い。



【令和2年6月 栗見出在家にて撮影】

作業は、貴重種であるアサザを残しつつ、外来種のオオフサモ等を取り除くものです。この活動は、地元自治会主導の下、毎年この時期に実施しています。今後も、こうした保全活動を通じて地域に貢献していきたいと思ひます。



保全活動の様子



保全活動の様子